

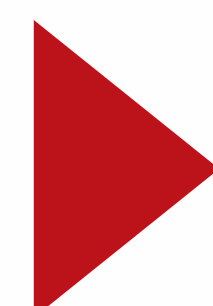


市制35周年を記念して「ふるさと枚方」らしい風景を将来に伝承していくことを目的に枚方八景を制定しました。

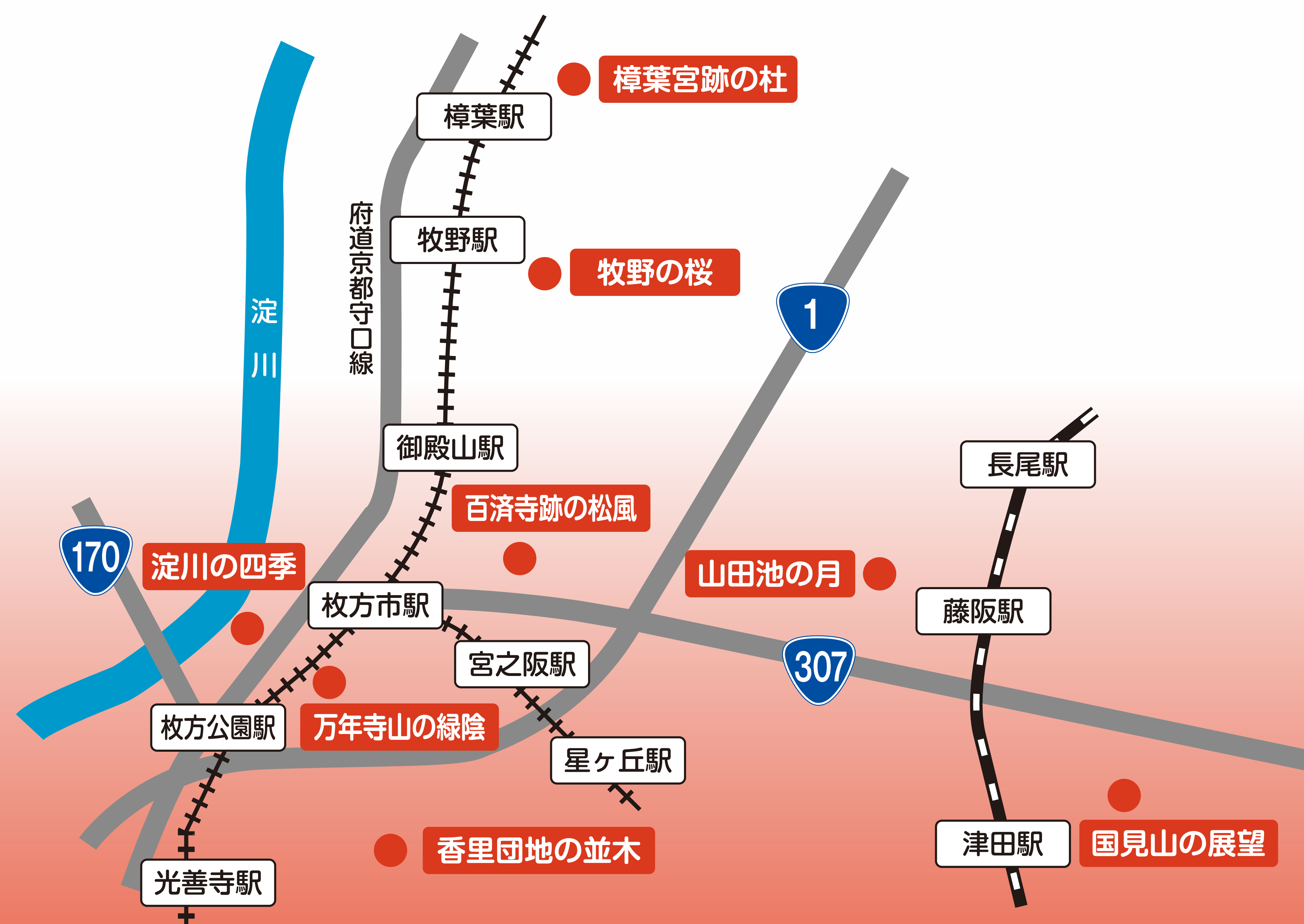
昭和59年10月1日制定 枚方市



English guide  
한국어 안내  
中文 指南



枚方八景位置図



# 香里団地の並木

緑の丘陵と田畑が、昭和14年に東京第二陸軍造兵廠香里製造所ぞうへいしょうとなり、戦後の昭和32年、日本住宅公団によってニュータウンが計画され、現在の香里団地に姿を変えました。

それから長い年月が立ち、街路樹は昔からここに生えていたかのように太く健やかに育ち、枝葉を空に張るようになりました。

なかでも「けやき通り」に植えられたけやき欒並木は、大通りを左右からはさんで空を覆う程に茂りました。春は萌えたつ若葉の色、秋は紅葉して青空に映え、晩秋ともなれば木枯らしに枯葉が一齐に流れるように散って歩道を埋めます。

また、開成小学校東側にはトウカエデの木立が秋の夕陽に照らされ朱色に映え、正門前に一列に並ぶ南京櫨なんきんはぜはまるで臘細工ろうざいくのように夕陽に透けています。

「いちよう通り」をはさむ銀杏並木ぎようちくとうは、秋を彩ります。そのほか夾竹桃の花あふれる通りや枝垂れ柳の並木路もあり、桜公園や観音山公園などは花見時に大勢の人でにぎわいます。桜といえば第四中学校前の桜並木もみごとです。

香里団地はすべてが人工的・近代的に造られた街ですが、今年年輪を重ねた落ち着きを見せています。

